

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会保障論 I		必修 (福) 選択 (理.作)	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
梅沢 佳裕 他	B310	y.umezawa	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 社会保障は、年金保険・医療保険・介護保険などの社会保険と、社会福祉、公的扶助の全てを含み、広義に捉えると教育、雇用、住宅問題も包含するものである。そこで、わが国の社会保障の枠組みの在り方、実施方法と体制等について講義を行い、社会保障に関する仕組みや内容についての基礎的な理解を目的とする。</p> <p><概要> 講義では、社会保障の柱である年金保険制度・医療保険制度・介護保険制度・雇用保険・労働保険などの社会保険と社会福祉の仕組みと内容等について、対面授業を通じて教科書をもとに学習し、その後にフィードバックを行い本講の要点となる内容の理解を深める。</p>				
学習上の助言	<p>社会保障制度をしっかりと理解するためには、事前に教科書を精読し、講義の前週に配布する予習復習プリントに沿って、専門用語や内容について下調べを行ったうえで講義を受けることが望ましい。</p>				
教科書	<p>新・社会福祉士養成講座 12 社会保障 第 6 版/編：社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版 必要に応じてプリントを配布する。</p>				
参考書	<p>特になし。</p>				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会保障制度の理念と機能について理解し説明できる。			HSU(1)、WP(1)、WP(2)	
②	日本の社会保障の体系や概要を理解し説明することができる。			HSU(3)、WP(1)、WP(2)	
③	年金制度の仕組みと内容について理解し説明することができる。			WP(1)、WP(2)	
④	医療保険制度の仕組みと内容について理解し説明することができる。			WP(1)、WP(2)	
⑤	介護保険制度の仕組みと内容について理解し説明することができる。			WP(1)、WP(2)	
⑥	労働保険制度・労働者災害補償保険について理解し説明することができる。			WP(1)、WP(2)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価についての説明) 社会保障を取り巻く社会環境について学習する。 [担当：松崎 昇]	講義	シラバスを読んで全体像を把握してくる。		4
2	社会保障概説について学習する。 [担当：松崎 昇]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。		4
3	社会保障の歴史について学習する。 [担当：松崎 昇]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。		4
4	社会保障の全体像について学習する。 [担当：松崎 昇]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。		4
5	再分配政策について学習する。 [担当：松崎 昇]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。		4
6	社会保障の財政について学習する。 [担当：松崎 昇]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。		4
7	社会保険と民間保険との関係について学習する。 [担当：松崎 昇]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。		4
8	年金制度 (国民年金) について学習する。 [担当：梅沢佳裕]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。		4
9	年金制度 (厚生年金・共済年金) について学習する。 [担当：梅沢佳裕]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。		4
10	医療保険制度 (被用者医療保険) について学習する。 [担当：梅沢佳裕]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。		4
11	医療保険制度 (国民健康保険) 後期高齢者医療制度・その他の制度について学習する。 [担当：梅沢佳裕]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。		4
12	介護保険制度の仕組みについて学習する。 [担当：梅沢佳裕]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。		4
13	介護保険制度の利用手続き・保険給付について学習する。 [担当：梅沢佳裕]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。		4
14	労働保険制度について学習する。 [担当：梅沢佳裕]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。		4

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

15	労働者災害補償保険をめぐる裁判事例について学習する。 [担当：梅沢佳裕]	講義	授業毎に配布するプリントによる予習・復習を行う。	4					
試	定期試験を実施する。 達成度評価・評価のポイントを参照する。 [担当：梅沢佳裕・松崎 昇]								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		70	0	0	0	30	100		
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	10	60		
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	期末試験を実施する。期末試験では、①～⑥について、授業の目的についての達成度を判断する問題を出題する。出題方法として、記述式の問題を出題する。なお、記述式問題では、①～⑥に関する達成度も総合的に判断できるような出題を行う。				試験の答案用紙は返却しないが、模範解答及び全体の得点分布等の評価結果を公表する。なお、希望者には採点した結果を解説する。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥	✓							
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①	✓	授業終了時に記載してもらおうリアクションペーパーをもとに評価する。				前回のリアクションペーパーを使い振り返りを実施する。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥	✓							
備 考									
<p>担当教員：◎梅沢佳裕、松崎 昇</p> <p>実践的授業の内容：授業では教科書に記載されている一般の事項を教えつつ、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら教員2名によるオムニバス形式で学習する。</p> <p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p> <p>全 15 回が登校型授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</p>									